

**20**年間、私たちは多くの人に支えられながら成長することができました。時には気づきながらも共に歩んできた仲間たち、我が子のようにご指導くださった先生方、いつも近くで見守って下さった地域の方々、たくさんの愛情をそいでくれた両親に感謝の気持ちでいっぱいです。

私の20年間を振り返ると一番最初にも思ったことは、周りの人たちにとっても恵まれたということです。小・中学校では、応援団長や生徒会などを任せてもらえました。高校は、鹿児島実業高校に進学し、小学校から続けていたサッカー部に入部しました。そこでは今までとは違いとても厳しい生活が待っていたのを今でも覚えています。試合は2年生から出

させてもらい、3年生では主将を務めさせてもらいました。中学校でも主将を任せましたが、それとは比べ物にならないくらいの人数や伝統があり、まとめることの大変さや責任などを改めて実感することができました。現在は、大学に進学してサッカーもしながら教員免許取得と消防士を目指しています。

私たちは「二十歳」という大きな節目を迎えました。社会人としてはまだまだ未熟ですが、それぞれが自身の目標に向けて一步一步、歩み続けている最中です。これから先まだまだいろいろな試練が私たちには訪れるかもしれませんが、諦めずにかに取っかかるという姿勢を忘れずに頑張っていきます。



川畑 陽介さん (協和小学校出身)

小濱 駿さん (垂水小学校出身)

# はたちの主張

このページでは、二十歳のつどいで発表された4人の『はたちの主張』（一部抜粋）をご紹介します。希望に満ち溢れた4人が二十歳の節目に思う、感謝の気持ち、将来への夢をご覧ください。

**私**は、この自然豊かな垂水市に生まれ、小・中学校ともに学び合った仲間と、本日の二十歳のつどいを迎えることができ、心から嬉しく思います。垂水市は、すれ違う人たちに挨拶をすると、笑顔で挨拶を返してくれる人ばかりです。つくづく温かい人たちに守られて育ってきたんだなと感じます。今ではそんな日々が懐かしく思い出されます。

を多くの人に注げられる保育士になり、これからもいろんなことに挑戦し、一生懸命頑張りたいと思います。20年間、多くの人に出会い、さまざまなものを見て、時に泣き、時には笑い、ここまでできました。いろいろな経験が生きる力となり、今の自分があるのだと思います。これまで温かく支えてくれた家族をはじめ、共に高め合ってきた友達など、全ての方々に心より感謝いたします。感謝の気持ちを上手く表現出来ずに、相手に気持ちも伝えられぬまま、そのままやり過ごしてしまったこともありました。これからは「ありがとう」と思うだけではなく、言葉や態度で感謝の気持ちを表現し、自分の心を素直に伝えられるようになりたいと思います。



森山 心さん (垂水小学校出身)

中馬 杏寿さん (垂水小学校出身)

**今**日こうしてこの日を迎えられたのは両親や家族、先生方、友人たち、また数え上げればきりがないくらい、多くの方々の支えによるものだとか感謝しております。

20年前、私はここ垂水市で生まれました。自然に囲まれたこの土地でさまざまな発見や経験をしてここまで成長することができました。時には優しく、時には厳しく教え導いてくれた両親や先生達には本当に感謝しています。最近、地域の人間関係が希薄になっていくと聞きますが、私達の生まれ育った垂水市は、すれ違う人たちに挨拶をする、笑顔で挨拶を返してくれる人ばかりです。つくづく温かい人たちに守られて育ってきたんだなと感じます。そんな日々が今では懐かしく思い

出されます。私は現在、理想のパティシエを目指して熊本の結婚式場で働いており、パンも出来るようになり毎日楽しく思っております。結婚式場で働くこととお客様の人生最高の一日を創り出すお手伝いができることを本当に光栄に思っています。

私の目標は、お菓子やケーキを通して未来の子どもたちに夢と美味しさを与えることです。そのために自分で店を出し、資金を集めボランティアとして全国を回りたいと思っています。私は好きなことで幸せを作るそんな人になります。必ずやり遂げてこのふるさと垂水への恩返しとすることをここに宣言します。

**私**は、生まれてから、垂水で育ってきました。豊かな自然と雄大な桜島を望み、温かい地域の方々に見守られ、さまざまな発見や体験を通して、ここまで成長することができました。たくさんのお仲間と出会い、保護者、先生方から時には優しく、時には厳しく教え導かれながら、絆を深めてきました。皆さんと過ごした時間は何にも代え難い、かけがえない大切な宝物です。自分という人間を形作る上で、垂水で育ったことは礎となり、また、これからの自分の糧になると思っています。

私は高校卒業後、自分の夢を叶えるために専門学校に進学しました。実家を離れ、初めて一人暮らしをして、本当に多くの方々に支えられな

がら生きてきたのだと改めて実感しました。私を見えないところで温かく見守り、支え続けてくださっていたことに気づき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。初めは、つい故郷を懐かしんでは帰りたくなったこともありましたが、同じ志を持った友人との出会いや勉強など、さまざまなことが頑張る勇氣になりました。春からは東京のホテルで働くことが決まり、無事、中学生の頃からの夢であったホテルマンになる夢を叶えることができ、本当に嬉しく思います。これから社会人として、今までにない経験や壁にぶつかる時が来ると思いますが、それらにめげずに挑み続け、自分自身がより成長できるよう邁進していきたいです。